

変額個人年金保険(受取総額保証型2011)

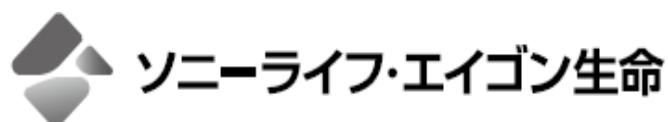
# ウイニングロードII

WINNING ROAD

## 特別勘定運用レポート 2019年1月発行

当資料は、ソニーライフ・エイゴン生命の変額個人年金保険の運用状況等について、ご契約者等へ情報提供を目的として作成されたものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。

当書面の記載内容は、発行月の前月末時点の情報を基に作成しています。投資信託名等の表記や投資対象等は「特別勘定のしおり」等と異なる場合がございます。



特別勘定の種類

特別勘定名称	バランス型2011 (6A-1)		
主な投資対象となる投資信託	VCファンドB<適格機関投資家限定>		
投資信託の運用方針	運用資産を、『積極運用資産（日本、米国、EMU（欧州経済通貨同盟）加盟国の株式、上場投資信託証券、公社債や短期金融商品および日本、米国、EMU加盟国の取引所に上場する株価指数先物取引や債券先物取引に分散投資）』と『安定運用資産（短期日本国債等に投資）』に区分し、各資産への配分比率については、ボラティリティ（変動率）・コントロール・プロセスに基づき、市場環境の変動に応じて定期的に見直すことにより、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。		
投資信託の構成	運用資産を『積極運用資産』と『安定運用資産』に区分し、各資産への配分比率については、原則として毎営業日に見直しを行い、目標ボラティリティ（年率6.0%）を維持することを目指します。		
積極運用資産	『積極運用資産』における内外の株式や公社債等の組入比率（『積極運用資産』の中での割合）は、原則として下記の通りとし、各ベンチマークを組入比率で合成した指数に連動する投資成果の獲得を目指します。		
	資産種類	組入比率	ベンチマーク
	国内株式	15%	TOPIX（東証株価指数、配当込み）
	海外株式	7.5%	S&P500インデックス（配当込み、円ベース※3）
	米国	7.5%	ユーロ・ストック50インデックス（配当込み、円ベース※3）
	欧州	7.5%	ユーロ・ストック50インデックス（配当込み、円ベース※3）
	国内債券	30%	バークレイズ日本10年国債先物（Alt）インデックス
	海外債券	20%	バークレイズ米国10年国債先物インデックス（円ベース※3）
米国	20%	バークレイズ米国10年国債先物インデックス（円ベース※3）	
欧州	20%	バークレイズ・ユーロ・ドイツ10年国債先物インデックス（円ベース※3）	
安定運用資産	短期日本国債等への投資を通じて、安定的な収益の確保を目指します。		
資産運用関係費用※1	年率0.137%程度（税込）		
運用会社※2	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社		

※1 特別勘定の資産運用関係費用は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を、小数第4位以下を切り上げて記載しております。このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまにはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

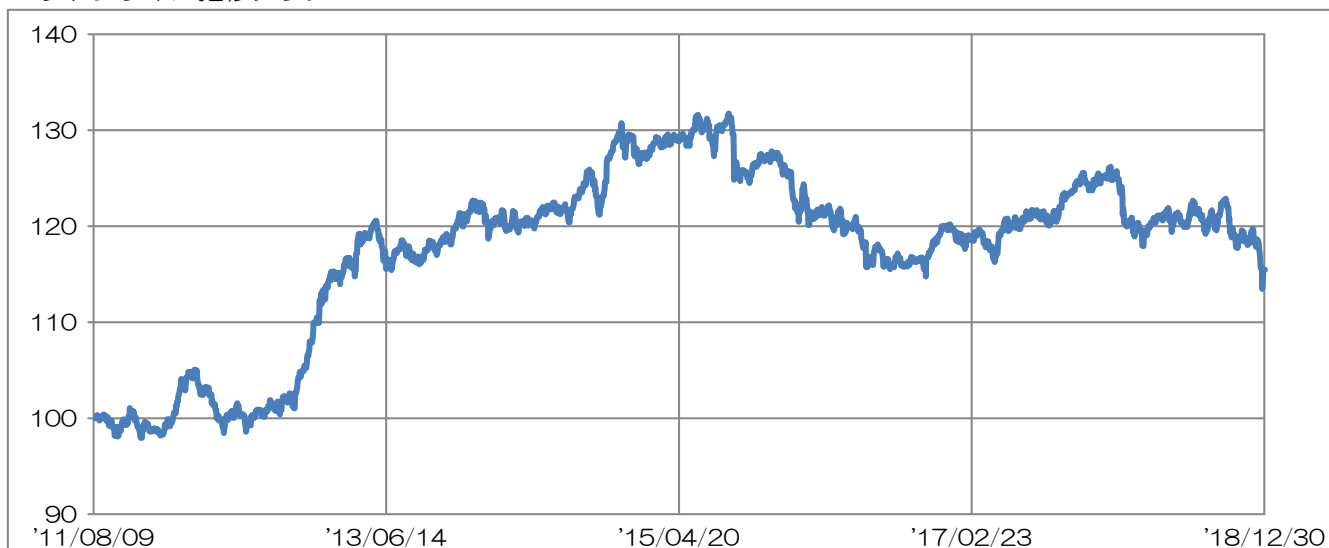
※2 当運用レポート作成時点において、当社との間の資本関係および人的関係はありません。

※3 投資信託の会計基準に合わせて運用会社が算出したものです。

■当資料は、ソニーライフ・エイゴン生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託の運用状況に関する開示情報は、当該投資信託の運用会社からの運用報告をソニーライフ・エイゴン生命が提供するものです。

バランス型2011（6A-1）

■ユニットプライス推移グラフ



■設定日

2011年8月9日

■ユニットプライス

2018年12月末

115.47

最高値	最低値
'15/08/12	'11/11/27
131.74	97.93

■資産状況

	残高（百万円）	構成比
投資信託	3,951	99.05%
現預金等	38	0.95%
合計	3,989	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■騰落率

1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	設定来
-3.33%	-5.87%	-3.94%	-7.60%	15.47%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

※本書面のユニットプライスの表示は、資産運用関係費用・保険関係費用控除後です。

※ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。（騰落率の計算は小数第8位まで使用しています。）

■当資料は、ソニーライフ・エイゴン生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託の運用状況に関する開示情報は、当該投資信託の運用会社からの運用報告をソニーライフ・エイゴン生命が提供するものです。

## 【特別勘定名】

バランス型2011（6A-1）

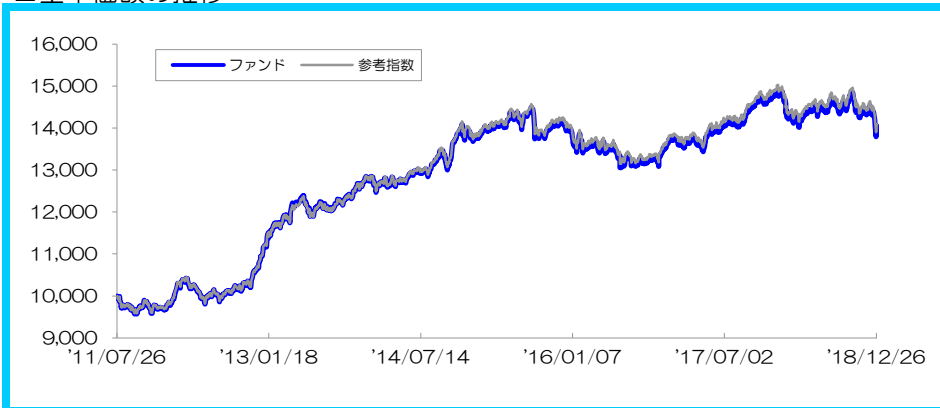
## 【特別勘定が投資する投資信託】

VCファンドB&lt;適格機関投資家限定&gt;

## 【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ■基準価額の推移



\*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

\*基準価額は信託報酬控除後の値で、税引前分配金を再投資したものと計算しています。

\*参考指数は、当ファンドが組入れている各資産のベンチマーク収益率に各基本組入比率を乗じて合成した積極運用資産と安定運用資産の指数に、ボラティリティ・コントロール・プロセスに基づいて出された各配分比率を乗じて算出したもので、ファンド設定日翌日を10,000として指数化しています。

## ■基準価額

14,044円

## ■ファンド概要

設定日	'11/7/25
純資産総額	1,494.9億円

## ■騰落率

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-3.11%	-5.21%	-2.51%	-4.86%	0.44%	40.44%
参考指数	-3.55%	-5.74%	-3.13%	-5.37%	0.08%	40.81%
差	0.44%	0.53%	0.61%	0.51%	0.36%	-0.37%

\*ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。信託報酬控除後のリターンです。

\*設定来とは、設定日を起点として計算した騰落率です。

\*参考指数は、積極運用資産と安定運用資産の指数に各配分比率を乗じて算出したものです。

## ■資産構成状況

資産種類	ベンチマーク	構成比
積極運用資産	日本株式 TOPIX（東証株価指数、配当込み）	10.7%
	米国株式 S&P500インデックス（配当込み、円ベース※）	5.5%
	欧州株式 ユーロ・ストックス50インデックス（配当込み、円ベース※）	5.1%
	日本債券 バークレイズ日本10年国債先物（Alt）インデックス	20.5%
	米国債券 バークレイズ米国10年国債先物インデックス（円ベース※）	13.8%
	欧州債券 バークレイズ・ユーロ・ドイツ10年国債先物インデックス（円ベース※）	13.9%
安定運用資産（短期日本国債等）		30.5%

\*構成比は純資産総額に対する各資産の時価評価額の比率です。※投資信託の会計基準に合わせて運用会社が算出したものです。

## ■積極運用資産の配分比率の履歴

日付	配分比率
2018年12月末	69.5%
2018年11月末	99.8%
2018年10月末	80.7%
2018年9月末	99.8%
2018年8月末	99.2%
2018年7月末	99.2%
2018年6月末	99.8%
2018年5月末	99.7%
2018年4月末	99.7%
2018年3月末	80.2%
2018年2月末	77.4%
2018年1月末	100.0%

\*積極運用資産の配分比率の上限は100%とします。

## ■市況コメント

【国内株式】12月の国内株式市場は、米中貿易摩擦や世界的な景気減速懸念、米政権運営の不透明感などへの懸念を背景に米株安となる中、大幅下落しました。

【国内債券】12月の国内債券市場は、経済指標が軟調である中、世界的に株式市場が大幅下落するなど投資家のリスクセンチメントが悪化したことを背景に債券が買われました。日本10年国債利回りは前月末から0.09%低下の0.00%となりました。

【外国株式】12月の海外株式市場は、世界的な景気減速懸念が相場の重石となる中、根強い米中貿易摩擦懸念に加え欧州の地政学的リスクの高まりや原油安を嫌気して売りが先行し米国および欧州市場は大幅下落となりましたが、アジア市場への影響は限定的となりました。地域別の月間騰落率は大きな違いが見られ、米国市場が約9%、欧州市場が5%台前半の下落となったのに対し、アジア市場は小動きに留まりました。

【外国債券】12月の海外債券市場は、米経済指標が堅調であり、また米連邦公開市場委員会(FOMC)が利上げを決定しましたが、米中貿易摩擦懸念が高まったことや世界的に株式市場が大幅下落するなどリスク許容度の悪化を背景に債券が買われました。米国10年債利回りは前月末から0.31%低下の2.68%となりました。

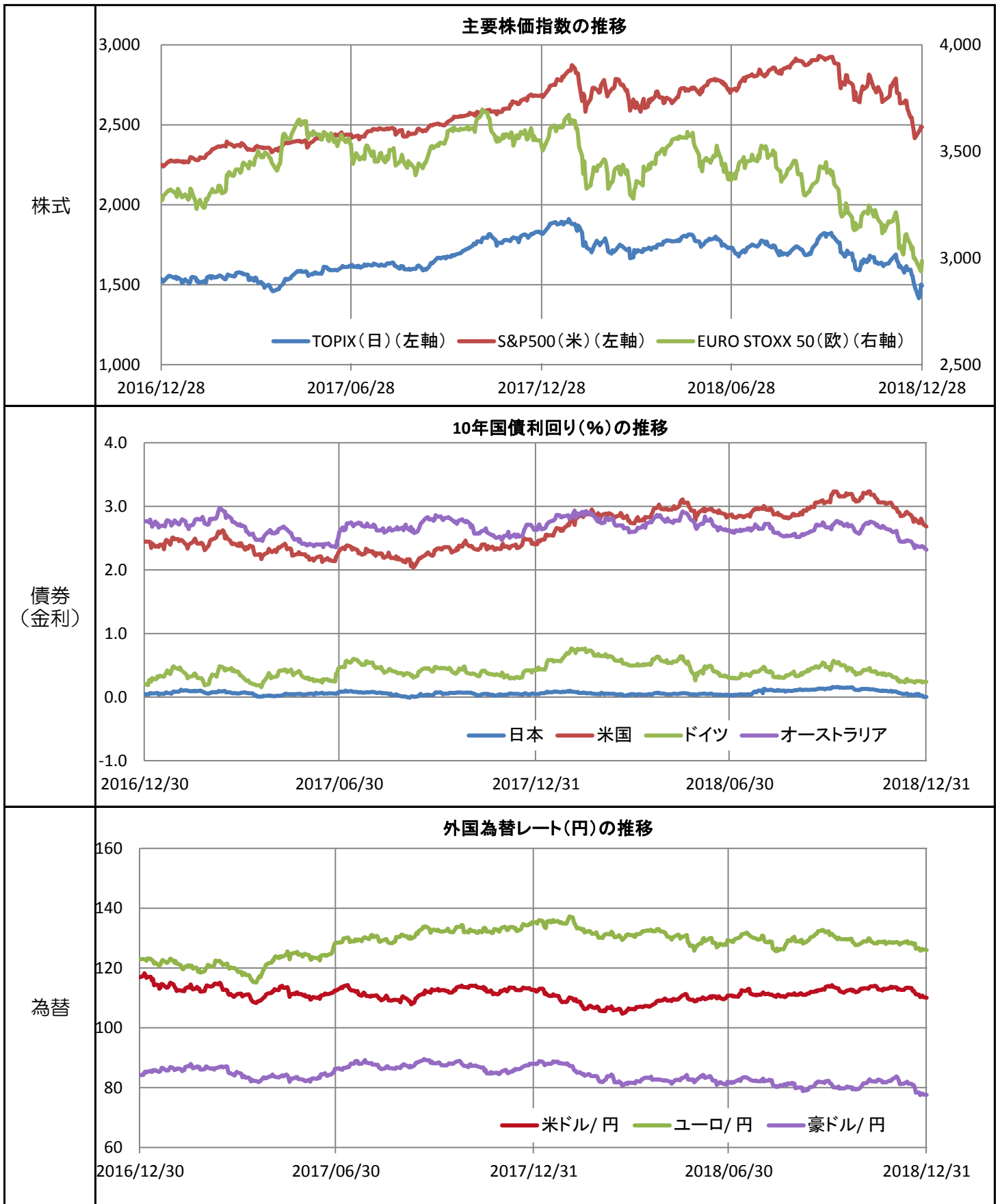
○本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「SSGA」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のSSGAの見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは、組入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。



※当ページに記載している各指数などのグラフについては、Bloombergのデータに基づきソニーライフ・エイゴン生命が作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中のデータは過去の実績であり、将来の市場動向または運用成果等を予測または保証するものではありません。

■ 投資リスクについて

この保険は、特別勘定の運用実績に基づき、積立金額、将来の年金額、死亡給付金額および解約返戻金額等が変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定の資産運用には、株式や債券の価格や為替の変動等にもなう、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、デリバティブ取引のリスク等の投資リスクがあり、運用実績によっては積立金額、解約返戻金額等がお払い込みいただいた一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属することになります。

■ 諸費用について（当商品にかかる諸費用は下記のとおりです。）

ご契約時にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料に対して5.0%	特別勘定への繰り入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

据置期間中および保証金額付特別勘定終身年金の年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要費用、死亡給付金・死亡一時金を最低保証するための費用および年金の支払いを保証するための費用です。	積立金額に対して年率2.98%	積立金額に対して左記の年率の1/365日を乗じた額を積立金から毎日差し引きます。
資産運用関係費用※	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定で主に利用する投資信託の信託報酬等が含まれます。	特別勘定が投資対象とする投資信託の信託財産に対して年率0.137%程度（税込）	特別勘定が投資対象とする投資信託の信託財産から左記の年率を日割りで乗じた額を毎日差し引きます。

※ 特別勘定の資産運用関係費用は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を、小数第4位以下を切り上げて記載しております。このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまにはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用

この保険では、ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用（解約控除等）はありません。

一時払定額年金への移行による年金支払期間中および遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用

一時払定額年金への移行による年金支払を行う場合および遺族年金支払特約による年金支払を行う場合にご負担いただく費用となります。

項目	目的	費用	時期
年金管理費用	年金のお支払いの管理にかかる費用です。	支払年金額に対して1.0%	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

ご注意：次の場合は年金管理費用のご負担はありません。

- ・一時払定額年金への移行後、年金支払開始日に年金原資額の一括支払を行う場合
  - ・一時払定額年金へ移行しない場合
  - ・遺族年金支払特約による年金支払を行わない場合
- 年金管理費用は将来変更されることがあります。

■ 其他のご留意事項

- \* 変額個人年金保険（受取総額保証型2011）「ウイニングロードⅡ」は、ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- \* このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。

<募集代理店>

<引受保険会社>

ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-52-2

青山オーバルビル

ホームページ <https://www.aegonsonylife.co.jp>

お客さまサービスセンター 0120-966-066 (通話料無料)

《受付時間》 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）  
午前9時～午後5時30分